

## 第3章

# 特別展示・企画展示

# 特別展示

常設展示だけでは展示できない自然や最新の科学技術などに関する分野の中から、話題性があり新鮮な興味を提供するテーマを選び実施しています。(平成13年までは企画展と表記していました。)

## 企画展「昆虫ワンダーランド」

1998年(平成10年)7月11日～8月30日／総観覧者数 51,886人



【概要】地球上で最も多様性に富んで繁栄している生物の昆虫を取り上げ、その特色のある生態と形態を紹介しました。当時、生きている外国産のカブトムシ等の展示は貴重で、県内外から多くの来館者が集まりました。

【代表展示物】ヘラクレスオオカブトムシ、コーカサスオオカブトムシ、オオヒラタクワガタ、オウゴンオニクワガタ、ヒイロツマベニチョウ、ハナカマキリ

## 企画展「海のめぐみ」

2000年(平成12年)7月8日～8月31日／観覧者数 37,070人



【概要】愛媛の水産業をテーマに、漁業、養殖漁業、水産加工の展示及び愛媛の海の魚介類の生態展示等を実施しました。

【代表展示物】実物漁具、養殖機器のほか、漁業や水産加工製造の映像、魚類の剥製などを多数展示しました。

## 特別展「すごいぞ！むかしの生きもの」

2004年(平成16年)7月10日～8月31日／総観覧者数 33,868人



【概要】生命誕生から哺乳類へ続く進化の過程を魚類や恐竜などの化石を展示しながら紹介しました。

【代表展示物】ストロマトライト、ユーステノプテロン、シーラカンス剥製、エリオプス全身骨格(レプリカ)、パラサウロロフス全身骨格(レプリカ)、スミロドン頭骨(レプリカ)ほか

## 特別展「トリックアート」

2009年(平成21年)7月11日～8月31日／総観覧者数 90,755人



【概要】目の錯覚を巧みに利用した「立体に見える絵画」や「角度によって印象が変化する作品」である「トリックアート」の展覧会で愛媛県初開催でした。アートの一部となって撮影を楽しむ来館者で賑わいました。

【代表展示物】トリックアート、座標の部屋、逆さ文字、ペンローズの三角形、エイムズの部屋、モスキートンほか

## 特別展「ドキドキ体感ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」

1998年(平成10年)7月11日～8月30日／総観覧者数 60,526人



【概要】スリラー博士のお城の中の「影の実験室」「光の実験室」などを巡りながら様々な科学現象を体感するエンターテインメント満載の展示です。ミステリーツアーや恐怖のサイエンスショーもあり、ちょっぴり怖くて不思議な展示室内は多くの入場者で賑わいました。

【主な展示】虹を作る実験室、恐怖のワームトンネル、からくり家具

## 特別展「南極の自然～観測活動とその成果～」

2013年(平成25年)7月13日～9月16日／総観覧者数 35,346人



【概要】学芸課の川又専門学芸員が参加した第54次南極観測隊(夏隊)での観測活動の詳細や近年の南極観測の研究成果等について、貴重な装備品や地衣類の標本を展示しました。

【代表展示物】ナンキョクヘリトリゴケ、ナンキョクロウソクゴケ、ナンキョクイワタケ、ナンキョクズミイボゴケ、クロヒゲゴケ、ナナバケチャシブゴケ

## 特別展「えひめスゴ技展2016」

2016年(平成28年)7月9日～9月19日／観覧者数 24,461人



【概要】愛媛県は、東予地方を中心にもものづくり企業が集積し、臨海工業地帯が形成されています。ものづくり企業の高い技術力「スゴ技」を製品・パネル・映像・体験展示等により紹介しました。

【代表展示物】遊星歯車可動装置、可変施肥田植機、サカラック、鋳物、惑星探査機部品

## 特別展「からくりランドの大冒険!!～ゆかいなしかけのおもちゃたち～

2019年(令和元年)7月13日～9月1日／総観覧者数 39,589人



【概要】からくり作品に組み込まれた歯車やカムなどの機構や動力伝達の仕組みを紹介しました。複雑な機構の生み出す楽しい動きや木や紙で作られた素材のぬくもり、からくり作家たちの作品に込められたユーモアに触れることができ、動きの仕組みを楽しみながら発見できる展示でした。

【主な展示物】未来トンボ、コレット、ダンボール歯車、歯車模型、遊星歯車減速機、デュアルクラッチ、トランスミッションカットモデル、ペアリング、ピタゴラン、からくり作家作品、コログラッド

## 特別展「物理学者が出会った美の世界 カレイドスコープワンダーランド」

2022年(令和4年)7月16日～9月19日／総入場者数 25,227人



【概要】入場者に万華鏡を実際に手に持って見て触れて体験してもらいながら、玩具、サイエンス、アートなどの多彩な魅力を発見してもらおうと企画しました。個性と魅力溢れるアート万華鏡を多数展示し、入場者を魅惑の世界へと誘いました。

【主な展示物】アート万華鏡、ミラー実験、カゲエドスコープ、戦後の万華鏡

## 特別展「未来をつくる: 科学とデザインの実験室」

2024年(令和6年)10月12日～12月1日／総観覧者数 4,209人



【概要】山中俊治名誉館長が展覧会ディレクターを務め、デザイナーと研究者が一緒に作った未来の技術を体験するための素材やマシン、それらのオリジナルスケッチを展示しました。東京以外の開催は当館だけで、県内外から多くの来館者が集まりました。

# 企画展示

常設展示だけでは展示できない自然や最新の科学技術などに関する分野の中から、話題性があり新鮮な興味を提供するテーマを選び実施しています。

## 館蔵品展「夢と科学のたどった道ー20世紀ー」

1998年(平成10年)7月11日～8月30日／総観覧者数 3,668人



【概要】20世紀100年間の発明・発見について当館収蔵資料を中心に紹介し、その意義や暮らしの変化を紹介しました。

【代表展示物】照明、レーザー、半導体、磁気記録、放射線、気象、絶滅危惧、外来種、エネルギー革命、化学繊維ほか

## 開館10周年記念収蔵品展開催

2004年(平成16年)11月13日～2005年(平成17年)1月10日／観覧者数 14,700人



【概要】10年間で収集した貴重資料、研究への利用、収集意義を知らせる資料など自然、科学技術、産業の分野別に紹介。

【代表展示物】ニホンカワウソ、輝安鉱、活断層剥ぎ取り、巨大ホログラム、錯覚、ゲーム機、型銀瓶量計、選果機ほか

## 企画展「地衣類の世界 -地衣類って何だろう? コケなの? キノコなの?-」

2009年(平成21年)2月28日～2010年(平成22年)5月10日／総観覧者数 6,360人



【概要】地衣類とは菌類と藻類とが共生した姿で、特殊化した菌類と定義されています。自然界では非常に地味な存在の地衣類に焦点を当て、自然を見る視点が増える企画展でした。

【代表展示物】イトゲジゲジゴケモドキ、ヤブレガサゴケ、イリタマゴゴケ、ツブミゴケ、ウスイロミヤマハナゴケ、ウメノキゴケ

## 企画展「めぐみの海・瀬戸内海」

2015年(平成27年)12月12日～2016年(平成28年)1月31日／総観覧者数 3,331人



【概要】海の学びミュージアムサポートの助成を受け、瀬戸内海の自然環境と生業について多面的に紹介する展示を開催しました。自然史系博物館ネットワークや、県内の漁業者・高等学校などと連携して、さまざまなイベントを実施しました。

【代表展示物】瀬戸内海地形模型、ナウマンゾウ骨格、多喜浜塩田の製塩用具・映像資料、海藻採集用具と海藻標本、動植物標本、魚類生体展示

## 企画展「防災の科学～自然災害から身を守れ～」

2016年(平成28年)2月27日～4月10日／総観覧者数 7,980人



【概要】防災をテーマに、地震などの自然現象と災害発生メカニズム、過去に起こった大規模災害、災害から身を守る方法や知識を解説しました。防災減災グッズ展示のほか、サラダ油ランプの作り方など災害時に役立つ科学の方法を紹介し、地震体験などのイベントも行いました。

【代表展示物】長周期地震動実験、活断層標本、防災食、消防士になろう

## 企画展「地震を探る」

2016年(平成28年)12月3日～2017年(平成29年)1月22日／総観覧者数 6,200人



【概要】地震の仕組みや地震の観測や調査の方法、最近の地震研究の成果、愛媛で起こる地震について紹介しました。

【代表展示物】活断層剥ぎ取り標本、東北地方太平洋沖地震断層サンプル(複製)、津波堆積物コア標本など。

## 巡回展「国際周期表年2019特別展」

2019年(令和元年)12月9日～2020年(令和2年)1月26日／観覧者数 10,178人

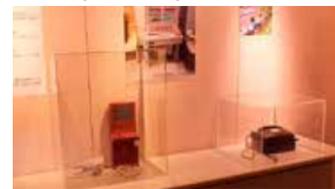


【概要】当館企画展を基に増強・再構成し、国際周期表年ワールドエンディングイベントに出展した巡回展の愛媛県帰り展

【代表展示物】巨大周期表、鉱物標本、体験装置、国内周期表作家作品、日本人の新元素発見、日本人の元素研究の成果

## 企画展「無線電話でたどる通信技術史」

2021年(令和3年)2月20日～4月11日／総観覧者数 10,418人



【概要】有線電話の交換機や電話機の変遷、無線電話の発展と移動通信の進化について機器や製品を展示のほか、愛媛県の電話回線開通の歴史も紹介しました。

【代表展示物】手動交換機、自動交換機、卓上電話機、公衆電話機、TYK無線電話機、ショルダーフォン、フィーチャーフォン、初期のスマートフォンなど

## 特別展示「小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル&小惑星リュウグウのサンプル特別展示」

2022年(令和4年)6月10日～6月14日／観覧者数 2,062人



【概要】小惑星の実物サンプルの巡回展示を全国で最初に開催した。実物資料に加えて、解説パネルで探査機の現状を紹介しました。

【代表展示物】小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル、小惑星リュウグウのサンプル、サンプルコンテナ輸送BOXなど

## 企画展「プラネタリウムと愛媛」

2023年(令和5年)10月7日～11月26日／総観覧者数12,565人



【概要】近代プラネタリウムが開発されて100年に合わせ、投影機のしくみの解説、愛媛県内のプラネタリウムの紹介を行いました。

【代表展示物】プラネタリウム投影機、恒星投影筒、補助投影機、スライド、図面、過去の番組ポスター・チラシなど

## 瀬戸内海国立公園指定90周年 企画展「来島海峡と潮流信号所」

2024年(令和6年)2月17日～2025年(令和7年)4月7日／総観覧者数13,383人



【概要】瀬戸内海国立公園90周年を記念し、来島海峡の潮流、潮流信号所、航行船舶などの展示を通じて、海の魅力と理解を深める機会を提供しました。また海の学びミュージアムサポートの助成を受けました。

【代表展示物】来島海峡航路の航法解説ジオラマ、中渡島潮流信号所ジオラマ、アゴの鼻灯台灯器など

特別展一覧 (平成13年までは企画展と表記)

年度	タイトル	期間
1995年度 (平成7年度)	企画展「ロボットの歴史と未来」	1996年2月10日～3月30日
1996年度 (平成8年度)	企画展「恐竜」	1996年7月14日～9月1日
1997年度 (平成9年度)	企画展「出発進行!愛媛の鉄道 ～坊っちゃん列車から未来の鉄道～」	1997年7月13日～8月31日
1998年度 (平成10年度)	企画展「たんけん!超ふしぎ館」	1998年7月11日～8月30日
1999年度 (平成11年度)	企画展「昆虫ワンダーランド」	1999年7月10日～8月31日
2000年度 (平成12年度)	企画展「海のめぐみ」	2000年7月8日～8月31日
2001年度 (平成13年度)	企画展「人体」	2001年7月14日～8月31日
2002年度 (平成14年度)	特別展「花物語 花にかくされたひみつ」	2002年7月13日～9月1日
2003年度 (平成15年度)	特別展「わくわく!エネルギー体験館」	2003年7月12日～8月31日
2004年度 (平成16年度)	特別展「すごいぞ!むかしの生きもの」	2004年7月10日～8月31日
2005年度 (平成17年度)	特別展「さわって!あそんで!おもしろ科学ワールド」	2005年7月9日～9月4日
2006年度 (平成18年度)	特別展「昆虫No.1決定戦」	2006年7月15日～9月3日
2007年度 (平成19年度)	特別展「きら☆ぴか☆りん ふしぎな光ミュージアム」	2007年7月14日～9月2日
2008年度 (平成20年度)	特別展「KARAKURI メカのしくみと動きのヒミツ」	2008年7月12日～8月31日
2009年度 (平成21年度)	特別展「トリックアート」	2009年7月11日～8月31日
2010年度 (平成22年度)	特別展「たんけん!ジャングルミュージアム」	2010年7月10日～8月31日
2011年度 (平成23年度)	特別展「ドキドキ体感ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」	2011年7月9日～9月4日
2012年度 (平成24年度)	特別展「ディノ・ミュージアム～恐竜の生態と進化～」	2012年7月14日～9月23日
2013年度 (平成25年度)	特別展「南極の自然～観測活動とその成果～」	2013年7月13日～9月23日
2014年度 (平成26年度)	特別展「大トリックアート展」	2014年7月13日～9月15日
2015年度 (平成27年度)	特別展「アマゾン～ホントはこんなトコだった!～」	2015年7月18日～9月23日
2016年度 (平成28年度)	特別展「えひめスゴ技展2016」	2016年7月9日～9月16日
2017年度 (平成29年度)	特別展「VRスポーツサイエンス」	2017年7月8日～9月18日
2018年度 (平成30年度)	特別展「恐竜ロボットファクトリー」	2018年7月21日～9月2日
2019年度 (令和元年度)	特別展「～光と鏡のサイエンスアート～ 魅惑の万華鏡ミュージアム」	2018年9月22日～11月11日
2020年度 (令和2年度)	特別展「からくりランドの大冒険!!～ゆかいなしかげのおもちゃたち～」	2019年7月13日～9月1日
2021年度 (令和3年度)	特別展「世界の昆虫大集合」	2020年7月18日～9月22日
2022年度 (令和4年度)	特別展「探検!化石の世界」	2021年7月17日～9月20日
2023年度 (令和5年度)	特別展「物理学者が出会った美の世界 カレイドスコープワンダーランド」	2022年7月16日～9月19日
2024年度 (令和6年度)	特別展「みんなあつまれ!昆虫王国」	2023年7月15日～9月24日
	特別展「シン・忍者展」	2024年4月20日～6月23日
	特別展「ドキドキ探検ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」	2024年7月13日～9月23日
	特別展「未来をつくる: 科学とデザインの実験室」	2024年10月12日～12月1日

企画展等一覧

年度	タイトル	期間
1995年度 (平成7年度)	巡回展「エネルギー体験館」	1995年6月10日～6月25日
1996年度 (平成8年度)	夏休み特別展「夏だ!おもしろ博物館」	1995年8月13日～8月31日
1997年度 (平成9年度)	特別展「欧米の科学博物館」	1997年4月26日～5月25日
1998年度 (平成10年度)	特別展「宇宙開発の過去・現在・未来」	1997年10月25日～11月24日
1999年度 (平成11年度)	テーマ展「川の生きもの」	1998年4月29日～5月10日
2000年度 (平成12年度)	特別展「自然科学写真協会写真展」	1998年9月12日～9月20日
2001年度 (平成13年度)	特別展「愛媛の鉱山」	1999年3月6日～4月11日
2002年度 (平成14年度)	特別展「日本自然科学協会写真展」	1999年10月9日～11月7日
2003年度 (平成15年度)	特別展「ふしぎ大陸 南極展」	1999年12月11日～1月16日
2004年度 (平成16年度)	館蔵品展「海の森・海産の世界」	2000年3月19日～5月7日
2005年度 (平成17年度)	特別展「日本自然科学協会写真展」	2000年10月7日～10月29日
2006年度 (平成18年度)	館蔵品展「夢と科学のたどった道～20世紀～」	2000年12月9日～1月14日
2007年度 (平成19年度)	館蔵品展「干潟の自然」	2001年4月24日～5月6日
2008年度 (平成20年度)	巡回展「すばる望遠鏡～宇宙を探る新しい眼～」	2001年05月19日～6月10日
2009年度 (平成21年度)	特別展「日本自然科学協会写真展」	2002年2月23日～3月10日
2010年度 (平成22年度)	館蔵品展「翼大空へ～航空機と空港を知る～」	2002年3月17日～4月14日
2011年度 (平成23年度)	企画展「ふしぎミュージアム」	2002年4月27日～5月26日
2012年度 (平成24年度)	企画展「仮想科学館」	2002年6月1日～6月30日
2013年度 (平成25年度)	特別展「日本自然科学協会写真展」	2002年11月2日～11月17日
2014年度 (平成26年度)	企画展「愛媛のキノコ～華麗なる森の芸術家たち～」	2002年12月21日～2月2日
2015年度 (平成27年度)	企画展「昔の遊び!今の遊び」	2003年2月8日～2月16日
2016年度 (平成28年度)	企画展「植物のおぼえ方」	2003年2月27日～3月16日
2017年度 (平成29年度)	企画展「きれいな川」	2003年3月22日～5月5日
2018年度 (平成30年度)	企画展「愛媛の野鳥～写真で見る野鳥観察～」	2003年5月11日～5月25日
2019年度 (令和元年度)	企画展「消えゆくいきものたち」	2003年6月1日～6月22日
2020年度 (令和2年度)	企画展「渡る蝶」	2003年9月10日～10月19日
2021年度 (令和3年度)	巡回展「日本自然科学協会写真展」	2003年10月25日～11月9日
2022年度 (令和4年度)	巡回展「ふれあい宇宙フェスティバル～きぼうの世紀へ～」	2003年12月13日～1月18日
2023年度 (令和5年度)	企画展「身の回りのサイエンス～かんきょう～」	2004年1月24日～2月15日
2024年度 (令和6年度)	企画展「愛媛の漁業 宇和海と瀬戸内海」	2004年2月28日～5月9日
	企画展「侵入者たち～外来生物について～」	2004年5月22日～6月20日
	開館10周年記念収蔵品展	2004年11月13日～1月10日
	企画展「みて!さわって!つくろう!昔のおもちゃ」	2005年1月22日～2月20日
	企画展「別子銅山写真展～日和佐初太郎のレンズが語る懐かしき時代～」	2005年3月5日～5月15日
	企画展「第26回自然科学写真協会愛媛展」内藤洋写真展～南極・動物の夏～」	2005年10月22日～11月20日
	企画展「愛媛の鉄道写真展」	2005年12月3日～1月29日
	企画展「ふしぎなホログラム」	2006年2月18日～5月28日
	企画展「秋の草花」	2006年9月16日～11月26日
	企画展「WARNING!地球温暖化」	2006年12月2日～1月8日
	企画展「八幡浜の水産業」	2007年1月20日～3月11日
	企画展「博物館講座展」	2007年3月24日～5月13日
	企画展「愛媛の航空路 今昔」	2007年10月6日～12月2日
	企画展「自然科学写真協会写真展」	2008年2月10日～3月9日
	企画展「天体写真展 星空への招待」	2008年3月29日～5月25日
	企画展「おかしな機械」	2008年10月4日～11月30日
	巡回展「毛利宇宙飛行士の部屋」	2008年12月4日～12月28日
	企画展「森のめぐみ 木のものがたり」	2009年2月28日～5月10日
	企画展「地衣類の世界」	2009年2月28日～5月10日
	巡回展「霧箱」	2009年7月4日～9月10日
	巡回展「日本の宇宙科学の歴史」	2009年10月3日～10月27日
	巡回展「SSP写真展」	2009年10月10日～11月8日
	巡回展「美とメイク」	2009年12月12日～1月11日
	巡回展「森のめぐみ」	2010年2月6日～3月14日
	企画展「昔のおもちゃ、今の玩具」	2010年2月27日～4月11日
	企画展「宇宙への誘い～宇宙開発展～」	2010年4月24日～5月30日
	巡回展「SSP写真展」	2010年10月9日～10月31日
	巡回展「ガリレオの天体観測から400年～宇宙の謎を解き明かす～」	2010年12月11日～1月30日
	巡回展「エネルギー商店街」	2010年12月12日～4月7日
	巡回展「森のめぐみ」	2011年1月29日～3月13日
	企画展「なごさの博物館 砂浜」	2011年2月26日～4月10日
	企画展「剥き出しの地球 南極大陸」	2011年4月23日～6月5日
	巡回展「森の博物館」	2011年10月8日～11月13日
	巡回展「科学市場」	2011年11月12日～3月27日
	企画展「おもちゃの今昔～素材と技術の移り変わり～」	2011年12月10日～1月29日
	企画展「光で魚を捕る漁業」	2012年2月25日～4月8日
	テーマ展「東日本大震災と博物館資料～標本レスキュー活動の記録～」	2012年3月10日～4月15日
	巡回展「光の謎を解き明かせ!」	2012年4月21日～6月17日
	巡回展「科学技術の「美」パネル展」	2012年4月28日～6月24日
	企画展「鑑視の不思議」	2012年10月6日～11月11日
	企画展「愛媛の博物館」	2012年11月23日～1月27日
	企画展「磁石と日本人」	2013年2月23日～4月7日
	巡回展「科学捜査展」	2013年4月20日～6月23日
	巡回展「オーロラ～宇宙からの手紙～」	2013年9月7日～9月16日
	巡回展「マリナー・キュリー業績ポスター展」	2013年10月5日～11月10日
	企画展「万華鏡の華麗な世界」	2013年11月23日～1月13日
	巡回展「科学技術の「美」パネル展」	2013年12月7日～2月16日
	企画展「鉱山絵巻写真～産業近代化の胎動 時代の息吹を感じる～」	2014年3月15日～4月6日
	巡回展「深海探検～海底二万の世界～」	2014年4月19日～6月22日
	巡回展「私達のかけがえのない海～はじめての海科学～パネル展」	2014年4月26日～6月22日
	巡回展「地球から宇宙へパネル展」	2014年7月19日～8月31日
	企画展「愛媛の絶滅危惧種」レッドデータブックと博物館」	2014年10月11日～11月24日
	企画展「青色発光ダイオードの発明」	2014年11月8日～4月5日
	企画展「紙の機能と科学」	2014年12月6日～1月25日
	企画展「教授を魅了した大地の結晶～北川隆司 鉱物コレクション200選～」	2015年2月14日～4月5日
	巡回展「こわいものめぐり～わたしたちが恐怖を感じるまで～」	2015年4月18日～6月21日
	巡回展「はやぶさ君の冒険日誌パネル展」	2015年4月25日～6月21日
	巡回展「生物多様性～人と自然の共存～パネル展」	2015年7月18日～9月23日
	企画展「なつかしの家電おどろきの道具」	2015年10月10日～11月23日
	巡回展「森に親しむ博物館」	2015年10月17日～11月8日
	企画展「めぐみの海 瀬戸内海」	2015年12月12日～1月31日
	企画展「防災の科学～自然災害から身を守れ～」	2016年2月27日～4月10日

年度	タイトル	期間
2016年度 (平成28年度)	巡回展「時計の楽しみ」	2016年4月16日～6月26日
	巡回展「科学捜査展SEASON2」	2016年4月23日～6月26日
	巡回展「月のふしぎ」	2016年9月17日～11月27日
	企画展「永久磁石～見て!触って!学ぼう!～」	2016年10月8日～11月20日
	巡回展「森に親しむ博物館」	2016年10月15日～11月6日
	企画展「地震を探る」	2016年12月3日～1月22日
	企画展「地衣類～コケだけどこケじゃない藻類?菌類?～」	2017年2月18日～4月9日
	巡回展「100均☆自然史グッズ巡回展」	2017年2月18日～4月9日
	企画展「カハクンの大宇宙旅行展」	2017年4月22日～6月25日
	企画展「東予産業遺産」	2017年10月7日～11月26日
	パネル巡回展「太陽のふしぎ」	2017年10月21日～11月19日
	巡回展「森に親しむ博物館」	2017年10月14日～11月5日
	企画展「体験!エネルギーワールド」	2017年12月9日～1月28日
	企画展「案外すんでる!身近な生き物」	2018年2月24日～4月8日
	企画展「ホネホネミュージアム」	2018年2月24日～4月8日
	企画展「ミクロライフ展」	2018年4月21日～6月3日
	巡回展「森に親しむ博物館」	2018年10月13日～11月4日
	企画展「野生の王国ケニア」	2018年12月9日～1月27日
	企画展「葉で見分ける常緑樹」	2018年12月9日～1月27日
	企画展「元素のマトリクス～星々から生命への贈り物～」	2019年2月23日～4月7日
	企画展「こわいものみたくさ～恐怖を科学する～」	2019年4月20日～6月23日
	テーマ展「越智勇一という人」	2019年4月27日～5月26日
	巡回展「森に親しむ博物館」	2019年10月12日～11月3日
	パネル巡回展「金星探査機「あかつき」」	2019年10月26日～12月1日
	企画展「別子銅山・東平の思い出」	2019年10月26日～12月1日
	ノーベル賞受賞記念展示「リチウムイオン二次電池の発明」	2019年12月7日～3月31日
	巡回展「国際周期表年2019特別展」	2019年12月14日～1月26日
	企画展「自然を記録しよう!標本のつくり方」	2020年2月22日～4月5日
	企画展「理科室の宝物～学校収蔵標本から地域の自然を再考する～」	2020年2月22日～4月5日
	企画展「バズル展～バズル島へようこそ～」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	ロビー展「森に親しむ博物館」	2020年9月26日～11月8日
	企画展「川正孝 アジア人初の新元素発見者」	2020年10月10日～11月29日
	パネル巡回展「こちら!はやぶさ2」運用室・漫画版」	2020年10月31日～11月29日
	企画展「待ちろちロゼット～冬を越す野鳥の姿～」	2020年12月12日～1月31日
	企画展「無線電話でたどる通信技術史」	2021年2月20日～4月11日
	企画展「バズル展～バズル島へようこそ～」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	パネル巡回展「いのちってなに?」	2021年7月17日～8月31日
	ロビー展「森に親しむ博物館」	2021年9月25日～11月7日
	企画展「学ぼう!電気が創る未来、体験しよう!電気のサイエンス」	2021年10月9日～11月28日
	巡回展「生誕100年 ノーベル物理学賞受賞者 南部 陽一郎展」	2021年10月9日～11月28日
	企画展「磁石工場をのぞいてみよう」	2021年12月11日～1月30日
	企画展「見たことあるかい?知っているかい?～貝の世界・不思議発見」	2022年2月19日～4月11日
	真鍋淑郎ノーベル物理学賞受賞記念展示	2022年4月1日～10月2日
	企画展「わくわく鉄道おもちゃパーク」	2022年4月23日～6月26日
	「小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル&小惑星リュウグウのサンプル特別展示」	2022年6月10日～6月14日
	ロビー展「森に親しむ博物館」	2022年9月24日～11月6日
	企画展「スポーツの科学と道具のひみつ」	2022年10月8日～11月27日
	企画展「天体写真で見る宇宙」	2022年12月10日～1月29日
	企画展「愛媛の紙産業」	2022年12月10日～1月29日
	パネル巡回展「SDGs(持続可能な開発目標)クイズボード」	2023年2月1日～3月31日
	企画展「標本で観る季節の植物春夏秋冬編」	2023年2月18日～4月9日
	企画展「科学捜査展」	2023年4月22日～6月25日
	ロビー展「森に親しむ博物館」	2023年9月23日～11月5日
	パネル巡回展「海と生きものわたしたち～3.11からの復興をめぐって～」	2023年9月28日～11月30日
	企画展「プラネタリウムと愛媛」	2023年10月7日～11月26日
	企画展「標本で観る季節の植物 秋冬編」	2023年12月9日～1月28日
	瀬戸内海国立公園指定90周年 企画展「東島海峡と潮流信号所」	2024年2月17日～4月7日
	パネル巡回展「星の衝突で何ができた?」「6の『月』が織りなす多彩な世界」	2024年9月14日～11月17日
	ロビー展「森に親しむ博物館」	2024年9月21日～11月10日
	企画展「石のワンダー」	2024年12月14日～2月2日
	企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」	2025年2月22日～4月6日